ほほえみ

（NO401）
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139

ぬくもり

飯沼イキ様の紹介

虹の架け橋ヘルパー

ショートステイから十一月十日より虹の架け橋に入所となりました。十一月はイキ様の誕生月でもあり、誕生会を利用者様と職員に囲まれながら九十四歳を迎える事が出来ました。

イキ様は総和の関戸で生まれ、女三姉妹の末っ子で、とても可愛がられて育ったそうです。昔は、農家で、朝から暗くなるまで、一生懸命に働いたそうです。二十一歳くらいで、水海道に嫁いで来ました。四人の子宝に恵まれ、「当時三女が生まれた時は、元気に泣いてばかりで、とても困った。」とイキ様が仰っていました。イキ様は、昔から働き者で面倒見が良くて、人から好かれて訪問者が多かったそうです。

そんなイキ様は、入所されてからもご利用者、職員に優しく接して頂き、ありがとうございます。これからも優しいイキ様で、毎日が楽しく生活が送れますように、職員一同、しっかりケアさせて頂きます。これからも宜しくお願い致します。

十二月のボランティア

日曜礼拝協力牧師の方々

いつも尊い働きありがとうございます。

主よ。地のすべての王たちは、
あなたに感謝しましょう。
彼らがあなたの口のみことばを
聞いたからです。
詩編138編4節

ホームページ

クリスマスの準備

虹の架け橋ヘルパー　神山　一真

今年は、利用者様にとって、イベントや面会など　コロナ禍で中止になる事が多く、我慢と不安の日々が続きました。十二月に入り、新型コロナの感染状況も一旦、落ち着き、イベントや面会が、徐々に出来るようになり、利用者様の笑顔も少しずつ増えてきました。十二月と言えば、クリスマス。クリスマスツリーは、職員とご利用者と、一緒に楽しみながら飾り付を行う事が出来ました。

初めて飾ったよ～

立派なモミの木だね

見事に完成です

真剣に飾ります

十二月の誕生者

川田あさ様　九十五歳
中島泰江様　七十五歳
石塚やい様　九十三歳
関口とみ様　九十七歳

HappyBirthDay

お誕生日おめでとうございます。

【十二月】
七日
十五日
二十三日
※ボランティアを中止しております。

【一月】
一日
二日・三日
七日
二十八日
※ボランティアを中止しております。

ジャスミン　理美容
防災訓練
クリスマス祝会

元旦礼拝・お正月レク
お正月レク
ジャスミン　理美容
防災訓練

主の降誕に感謝

理事長兼総合施設長　宇都宮和子

十二月に入り、園庭に敷き詰めたイチョウの葉を両腕一杯乗せ、思いっきり高く蒔き、楽しんでいる障がい者施設のご利用者さんの姿に、思わず微笑み、心が和みました。秋と冬の訪れを一緒に楽しんでいる様子です。

コロナウイルスもやっと落ち着き、茨城県もこの数日、感染者はゼロの日が続いていますが、新たなオミクロン株で、まだ不安が続きます。目に見えないコロナ株で世界中が不安な日々ですが、季節の移り変わりは必ずやってきます。コロナウイルス菌も、いつかインフルエンザのように、予防接種で対応できるようになることを祈っています。

玄関先にクリスマスツリーが飾られ、外には小さなサンタクロースと、色とりどりのイルミネーションが光輝き、ご利用者さんも、楽しみながら食堂から外を眺めています。

振り返るとご利用者さんもご家族も我慢の二年近く、やっと面会も出来るようになり、少しずつ普通の生活に戻りつつあります。もうすぐクリスマス、主イエス・キリストの降誕を心から待ち望み、心からハレルヤと賛美したいです。この一年、ご家族の皆様の温かいご支援ご協力により、ご利用者さんの健康が守れた事を心から感謝します。ハレルヤ！

「喜ぶものといっしょに喜び、泣くものといっしょに泣きなさい。」

（ロマ十二章十五節）

手をとりあって

中庭の
真っ赤な柊

施設長　小川内秀樹

安堵してベッドに横たわる。S様は、自宅に戻らないまま、病院から直接にキングス・ガーデンへ入居。朝から緊張していたのか、ほっとした表情。

全世界が、霧の中を彷徨うような毎日を過ごす中で、心に持ち続けてきた「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。」聖書の言葉（イザヤ書四一章十節）。私たちは、不安な心持ちを抱えてしまう者である事を、先んじてわかってくれている方がいる。目に見える形で起こってくる災いや、手でつかむことのできない無形の恐れを抱くこともある。感染対策問題だけでなく、自然環境が維持でき、これからの子供たちの時代にも、平穏な生活が約束されているのかどうか、持続可能な世の中なのか、地球規模の不安材料は果てしなく、掘り深い。

聖書は、この世界は、神のことばで創られた。と記す。「ことばは神であった。」とヨハネは語る（ヨハネの福音書一章一～三節）。

世界的に広がる危機のニュースは、強制的に目に、耳に入り、毎日の生活に入り込む。心配ばかりが心を覆う情報が溢れている。この一年間、私たちが支えられてきたものは何だろう。危機感が強まる中で、むしろ、「光はやみの中に輝いている。」（ヨハネの福音書一章四～五節）事を信じ、祈り続けて、希望を見出すことに時間を使い、心を向け、一日の終わりにベッドに入る、あの安心と温かさを感じながら、ほほえみを浮かべた一年の終わりとなるよう願いたい。

毎月のお楽しみ・午後のケーキ

特養ヘルパー主任　野田　望

十二月はプリンタルトと、ミキサー食のご利用者には、チョコレートケーキが提供されました。甘いデザートは、どなたも大好物。とても喜ばれます。来月は何かな？おたのしみに！

「珍しいね。」
と、ご満悦。

対面面会のご案内

（月）～（土）
午前10時～11時30分
午後2時～4時30分
（日）
午前10時～11時30分
午後2時～2時45分
午後4時～4時30分

・一組2名様まで。
・十五分以内。
・マスク着用。受付で検温、消毒。
・面会場所（廊下）では、アクリル板越し。マスク外さない。接触控える。
・中学生年齢以下の方は、不可。

現在、予約制での面会です。前日までには連絡して下さい。当日連絡の場合は面会できません。また、対応できる組数に限りがある為、前日までの連絡でも、お断りする事がありますので、早めの連絡をお願い致します。入居者様の体調優先です。ご協力お願いします。

クリスマス祝会

ご家族と、ご利用者の面会は、行えませんが、ご利用者の皆様には、クリスマス礼拝や、プレゼントで、楽しんでいただく予定です。

☆クリスマス礼拝
・お祈り
・賛美〈もよしこの夜〉
・工藤彰洋先生からのメッセージ
・職員による賛美〈牧人ひつじを〉
・理事長・施設長挨拶

☆お楽しみ会
・賛美
〈赤鼻のトナカイ・ジングルベル〉
利用者と共に演奏
・サンタクロースからプレゼント配布
・お祈り

【編集後記】

寒い日が続きますがお身体に気を付けて過ごして下さい。

ほほえみ担当　神山・栗崎

相談員日誌

「言葉の力」

宮本真次

今年のプロ野球はヤクルトの日本一で幕を閉じた。

前年のセ・リーグ最下位のチームを日本一に押し上げたのは高津監督の「言葉の力」に拠るところが大きい。

監督就任後、彼は常に「どうしたら選手個々が前向きにプレー出来るか」を考え、導き出した答えが「（選手の心に響く）言葉」を日々発信することであった。

彼の現役時代は決して順風満帆ではなかった。そこで積んだ苦労や経験が発信する言葉の説得力や凄みとして昇華し、選手個々の心に響いたのではないだろうか。対人援助職として学ぶべきことは多い。

コロナ禍において、人と人との関わり方が様変わりしている今、ご利用者個々が明るく楽しく前向きに過ごして頂ける様、あらためて「言葉の力」を信じて日々発信していきたい…。

機関紙ほほえみの記事は、筑波キングスガーデン個人情報保護方針に基づき、了解を頂いた上で掲載させて頂いております。